

しょうがい
障害がある方とボランティアのためのハンドブック

がいしゅつ

ねが

ひんと

外出するときをお願いするためのヒント

あなたらしい ゆるやかな つながり...



しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人

かながわけんしゃかいふくしぎょうぎかい
神奈川県社会福祉協議会

はじめに

か もの えいが かんしょう さん ぼ ぼ しょ がいしゅつ おお
買い物、映画鑑賞、散歩など、さまざまな場所へ外出することは、多く
ひと あたら であ じぶん せいかつ しつ たか
の人や新しいできごとに出会い、自分の「生活の質」をより高めることにつ
ながります。

がいしゅつ とお かぞく とも しせつしよくいん ひごるせつ ひと
また、外出を通して家族、友だち、施設職員など日頃接している人とは
ちが ひと であ ちが ひと であ ちが ひと であ ちが ひと であ
違う人と出会うことによって、新たなゆるやかなつながりが生まれ、「生活
の幅」をより広げることができます。

このことから、「外出」は生活する上で大切な時間の一つと言えます。

しかし、しょうがい ひと ぼらんていあ がいしゅつ ねが
しかし、障害がある人から「ボランティアに外出をお願いしたいけれど、
なに ねが ぶあん がいしゅつ ぼらんていあ さが
何をお願いしたらよいか不安だ」「外出するときのボランティアを探して
いるけれど、どこにそうだん たらよいか わ 分からぬ」という声が聞かれます。

いっぽう ぼらんていあ なん ぼらんていあ まか
一方、ボランティアから「何でもボランティアに任せ、そもそも
ぼらんていあ やくわり なに いちどかくにん こえ き
ボランティアの役割は何か、もう一度確認したい」という声が聞かれます。

そこで、こんかい しんたい しょうがい ひと とく うんどうきのうしょうがい ひと がい
そこで、今回は身体に障害がある人（特に運動機能障害がある人）が外
しゅつ ぼらんていあ ねが ぼあい こころがま やくだ じょうほう
出するとき、ボランティアをお願いする場合の心構えや役立つ情報、また、
がいしゅつ きかい とお しょうがい ひと ぼらんていあ よ かんけい きず
外出の機会を通して障害がある人とボランティアがより良い関係を築くた

めの工夫などをまとめました。

多くの人が悩んだ（悩んでいる）であろう事例をもとに作成しましたが、どれも忘れてはいけない大切な内容ばかりです。このハンドブックが、新しい外出計画を立てたり、今までの外出を振り返ったり、ボランティアの役割を再確認したりする参考になれば幸いです。

今回は身体に障害がある人を対象に作成しましたが、知的障害、精神障害など、さまざまな障害がある人もボランティアを依頼するときの心構えは共通します。

また、2つ穴式バインダーのハンドブックとなっています。外出先の資料などをつづり、あなた専用のハンドブックとしてご活用ください。

最後になりましたが、ハンドブック作成にあたりご協力を賜りました皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。



もく じ 目 次

はじめに	1
1. 「ボランティア」ってなあに？	4
2. ボランティアにお願いできることって？	5
3. どこにお願いしたらよいの？	9
4. ボランティアも依頼者のチカラを伸ばせる！！	12
5. ボランティア活動で悩んだときに	16
6. リスクを防ごう！～お互いが笑顔でいられるように～	17
7. 参考資料	23